



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



◆平成24年度歯の衛生週間

三重県審査の結果／郡市歯科医師会レポート

◆平成24年度生涯研修セミナー

生きるよろこびを支える歯科医療

◆平成24年度歯科衛生士講習会



三 重 県 歯 科 医 師 会 報



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2012



No. 657

◆平成24年度歯の衛生週間

三重県審査の結果／郡市歯科医師会レポート	1
日本歯科医師会・三重県歯科医師会 平成24年度生涯研修セミナー	12
平成24年度歯科衛生士講習会	17
平成24年度第3回理事会（福祉厚生委員会の互助会见直し案を提示）	20
平成24年度第2回郡市会長会議（三層構造維持のための入会手続き等を確認）	22
第1回定時代議員会	
（機構改革特別委員会設置を決定 次期日歯会長選挙の選挙人7名を選出）	24
三重県歯科医師会 公益社団法人移行記念式典	28
平成24年度第4回理事会（機構改革特別委員会、メンバーを決定）	30
三重県歯科医師会 全体講習会（MDAセミナー）	32
第27回三重県警察医会定期総会	32
医療管理（診療所内のLEDランプ取付け工事費用の税務の取扱い）	33
<hr/>	
6月・7月会務日誌	34
会員消息	35
障害者歯科センター診療状況	36
平成24年2月・3月診療分歯科診療報酬状況	36
告知板	
（・日本歯内療法学会中部支部会第8回学術大会開催のご案内 ・愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部学術講演会のご案内）	37
互助会の現況	39
三重県歯科医師国民健康保険組合	40
編集後記	42

平成24年度 歯の衛生週間／三重県審査の結果

平成24年度 歯の衛生週間 三重県審査の結果

第61回母と子のよい歯のコンクール

最優秀	岩谷 杏美	春 花	桑 員
優秀	土屋 絵里	雅 義	四日市
"	中島 亜矢	み る	鈴 鹿
"	三谷 純子	楓 雅	亀 山
"	岡田真理子	健 吾	津
"	磯貝 聡子	悠 華	松 阪
"	武本 友恵	友 翔	伊 勢
"	池田志津乃	光 稀	志 摩
"	吉良 宏美	絵瑠香	尾 鷲
"	山田 妙	千 尋	南 紀
"	浅川万侑稜	愛 以	伊 賀



平成24年度よい歯の児童生徒審査表彰

最優秀	谷川 智 洸	尾鷲市立尾鷲小学校	尾 鷲
優秀	岩花 梨乃	いなべ市立石榑小学校	桑 員
"	小川 英也	私立 暁 小 学 校	四日市
"	カンド センドリック	鈴鹿市立愛宕小学校	鈴 鹿
"	須崎 敦士	亀山市立井田川小学校	亀 山
"	片浦 唯人	津市立育生小学校	津
"	床辺 真菜	多気郡明和町立修正小学校	松 阪
"	世古 口巧	伊勢市立厚生小学校	伊 勢
"	木下 阿美	鳥羽市立菅島小学校	志 摩
"	平野まゆな	熊野市立井戸小学校	南 紀
"	チャウィッタラ バンダーラ	伊賀市立西柘植小学校	伊 賀



受賞の言葉

母と子のよい歯のコンクール 最優秀
岩谷杏美さん・春花さん

子どもを授かり、わが子の歯の健康を考えるようになった時、自分が子どもだった頃のことを思い出してみました。おやつは硬い醤油せんべいで食べ終わると母は熱い緑茶を出してくれました。夜には父のつまみのスルメをかじったりもしていました。そんな環境がよかったのか、私自身は虫歯にならずに今日に至っています。子どもたちにも同じようにできたらと思っていましたが、娘はせんべいより甘いものが好きで、おやつをたくさん欲しがって困りました。そこで私なりに考えたルールが、①3歳までチョコや歯につきやすいものは食べさせない ②ジュースよりお茶を飲ませる ③定期的にフッ素塗布に行くこと一でした。

スーパーに並んだいろいろな種類のお菓子。甘すぎたり、歯にくっつきやすかったりするものを子どもが選んだ時には「まだ食べられないんだよ」と諭して避けるようにしました。ジュースもなるべく果汁100%のを選び、飲んだ後には「お茶を飲んでね」と声をかけるよう心がけました。

3か月に一回歯医者さんへフッ素塗布に行くことも習慣づけました。最初は何をされるのか分からず怖かったのか泣いてしまいましたが、回を重ねるごとに慣れてきて、今では落ち着いてフッ素塗布を受けられるようになっています。

3歳を過ぎてからはチョコを解禁にする等、少しお菓子の幅を広げましたが、まだ飴やキャラメルは避けるようにしていますし、おやつ後はお茶を飲んだり、歯磨きをしたりする等の工夫をしています。歯磨きには抵抗がないので、ゴロンと寝かせて歯磨きをしています。かわいい絵のついた歯ブラシにするとやる気が出てくるようです。下の子ども歯磨きが好きで、食後に歯ブラシを持ってくると競うように膝の取り合いになるほどです。

親がよい歯であればきれいな歯を子どもに見せて証明することができます。いつか子どもたちが親になる時にも、よい歯を繋げていけるように、これからも努力していきたいです。



審査風景

母と子のよい歯のコンクール
よい歯の児童生徒審査表彰
審査委員

三重県健康福祉部医療対策局 健康づくり課主幹	芝田登美子
三重県教育委員会事務局 保健体育課充指導主事	山中千聡
三重県歯科医師会副会長 同常務理事	中井孝佳 羽根司人
同理事	杉原信久
同理事	福森哲也
同公衆衛生委員	

平成24年度 歯の衛生週間／三重県審査の結果

平成24年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

〔小学校低学年の部〕 図画・ポスター

●最優秀

海上心菜

伊勢市立宮山小学校

1年

伊勢



2位	樋口紗也菜	鈴鹿市立稲生小学校	2年	鈴鹿
〃	水上 絢葉	亀山市立井田川小学校	3年	亀山
〃	寺内 優紀	松阪市立山室山小学校	3年	松阪
3位	蜂矢 侑希	桑名市立精義小学校	2年	桑員
〃	堀内 夢夏	四日市市立羽津北小学校	3年	四日市
〃	深堀 藍人	紀北町立三浦小学校	1年	尾鷲
佳作	平田 華純	津市立新町小学校	3年	津
〃	山口 叶太	鳥羽市立鳥羽小学校	1年	志摩
〃	北岡 亜加音	熊野市立五郷小学校	2年	南紀
〃	江内田 智文	名張市立美旗小学校	2年	伊賀

〔小学校高学年の部〕 図画・ポスター

●最優秀

伊左治史佳

四日市市立大矢知興譲小学校

5年

四日市



2位	出口 颯香	松阪市立德和小学校	4年	松阪
〃	佐藤 路太	伊勢市立神社小学校	5年	伊勢
〃	中西 百音	紀北町立東小学校	5年	尾鷲
3位	後藤 歌哉	亀山市立井田川小学校	6年	亀山
〃	西岡 杏珠	志摩市立立神小学校	6年	志摩
〃	佐藤 亜南	熊野市立金山小学校	6年	南紀
佳作	伊藤 百花	東員町立稲部小学校	6年	桑員
〃	高野 莉子	鈴鹿市立椿小学校	5年	鈴鹿
〃	高松 真奈	津市立新町小学校	4年	津
〃	松井 かずさ	名張市立梅が丘小学校	6年	伊賀

〔中学校の部〕

ポスター

●最優秀

岩崎日花里

松阪市立西中学校

3年

松阪



2位	高橋 由衣	四日市市立富洲原中学校	1年	四日市
〃	辻村 亜弥	伊勢市立宮川中学校	3年	伊勢
〃	北嶋 ひなの	御浜町立御浜中学校	3年	南紀
3位	林 未理 亜	鈴鹿市立千代崎中学校	1年	鈴鹿
〃	三谷 真由	亀山市立亀山中学校	1年	亀山
〃	濱口 彩奈	尾鷲市立尾鷲中学校	3年	尾鷲
佳作	西川 杏奈	桑名市立正和中学校	3年	桑員
〃	垣内 瑠菜	津市立朝陽中学校	3年	津
〃	百田 聖和子	伊賀市立緑ヶ丘中学校	3年	伊賀

審査講評

歯・口の健康を保持・推進する運動の一環として取り組まれている「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」へ、今年も多くの児童生徒のみなさんから応募がありました。県下373校、9,506点の応募の中から、小学校低学年11点、小学校高学年11点、中学校11点について審査を行いました。

まず小学校低学年の作品は、顔の表情がしっかりと描かれて、ていねいに彩色されており、人物と背景の色の組合せもよく考えられていました。特に海上さんの作品は、歯を磨いている手と歯ブラシがしっかりと描かれ、また貼り合わせてあることで顔と手、歯ブラシがより立体感が出ていました。また、二席・三席の作品も大きく口を開けて楽しそうに歯磨きをする様子が描かれ、子どもらしいほほえましさを感じられました。

次に小学校高学年の作品は、文字をていねいに描き、絵と背景の配色がよく考えられていました。特に伊左治さんの作品は、宝箱から三人の人物が飛び出した構図で、歯の白さと周りの色、文字の色との組合せもよく考えられて描けていました。



審査風景

津市立修成小学校校長 稲垣雅敏

また、二席・三席の作品は、色の組合せや描かれた人物の表情や絵から歯を大切にという思いが伝わってきました。

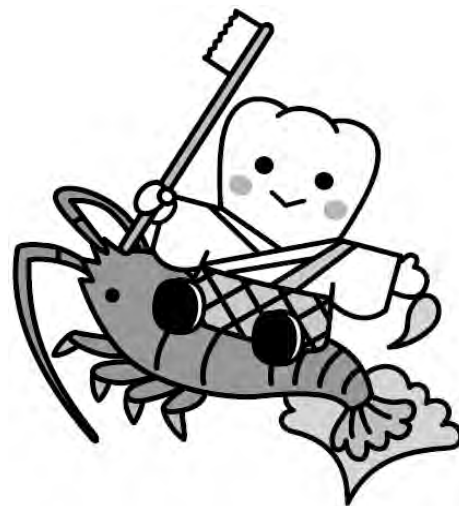
最後に中学生の作品は、彩色の技術のレベルの高さやよく考えられたキャッチコピーに感心しました。特に岩崎さんの作品は、キャッチコピーに斬新さがあり、歯と周りの色との配色の良さ、彩色の技術のレベルの高さも感じられる作品でした。二席の辻村さんの作品も、パステルカラー調の合いを基調にていねいに彩色されていて良い作品でした。また、他の二席・三席の作品も、各々がキャッチコピーをよく考えて、それに合う絵が描かれている作品が多かったです。さらに、彩色もていねいにしており、中学生の作品の完成度の高さが感じられました。

最後に、図工・美術の作品を制作するというだけでなく、このようなポスターを描くことで自分自身だけでなく家族全員の歯や口の健康を保持・推進しようとする気持ちが広がることを願って審査講評といたします。

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール 審査委員

津市立修成小学校校長	稲垣雅敏
津市立黒田小学校校長	古金谷初美
三重県教育委員会事務局 保健体育課充指導主事	小林厚詞
三重県歯科医師会常務理事 同理事	羽根司人 杉原信久
同理事	福森哲也

平成24年度 歯の衛生週間 郡市歯科医師会レポート



● 桑員



6月7日(木)、桑名市民会館にて「母と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒審査表彰」の地区審査が行われました。「よい歯の…」は、小学校35校から36名、中学校12校から12名が、

「母と子の…」では31組の方々が二次審査に臨み、桑員歯科医師会の担当者が7組に分かれて参加者の歯牙状態、歯列咬合状態、軟組織口腔清掃状態、顎関節等を順に審査しました。一次審査を通過しただけあって、口腔状態の良好な方々が揃っており、順位をつけるのに苦労するほどでした。

審査終了後には、事前に審査を行った「図画・ポスターコンクール」と併せ、表彰式が開催されました。主催者を代表して服部 修会長が挨拶、星野良行副会長は講評の中で健康を維持するための食事の取り方等を分かりやすく説明し、将来は8020以上を目指しましょうと呼びかけました。

(取材：水野祥幸)

● 四日市



平成24年度「歯の衛生週間」、四日市では地元ケーブルTV等の取材も入る中、「母と子のよい歯のコンクール」は13組の母子が、「よい歯の児童生徒」は四日市市及び三重郡の各学校から小学

校6年生49名、中学校3年生29名が、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は小学校図画の部79点（29校）、小学校ポスターの部72点（30校）、中学校ポスターの部13点（7校）がそれぞれ地区審査に臨み、地区代表が選出されました。

6月7日(木)には四日市市総合会館で、田中俊行四日市市長をはじめ大勢の来賓の出席の下、表彰式が行われました。「図画・ポスターコンクール」の応募作品は5月31日(木)～6月7日(木)の期間、同会館の1階ロビーに展示され、大勢の市民が数々の力作を楽しんでいました。

(取材：伊藤 誠)

● 鈴鹿



6月7日(木)、鈴鹿市保健センターで恒例の「歯の衛生週間事業」が行われました。今年は、好天にも恵まれ、昨年を上回る406名の市民に参

加していただきました。

当日は「よい歯の児童生徒」「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」及び「いい歯の8020」の審査の他、「歯科相談・歯科健診」を実施。15名の会員が多くの市民の相談に対応しました。さらに歯科衛生士会の協力の下、▽唾液検査コーナー▽顕微鏡コーナー▽ブラッシング指導コーナー▽フッ素製品体験コーナー▽お口の健康体操コーナー等が用意され、市民の歯科に対する関心を高めるのに役立ったことと思います。

(取材：呉山章浩)

● 亀山



6月7日(木)、亀山市総合保健福祉センター及び健康づくり関センターを会場に「母と子のよい歯のコンクール」「フッ素塗布」「無料歯科健診・よろず歯科相談」を行いました。「フッ素塗布」

「無料歯科健診・よろず歯科相談」には亀山地区で167名、関地区で36名の参加がありました。フッ素塗布では今年から歯科衛生士主体で行うようにした効果か、泣いて機嫌を損ねるお子さんが少なかったようでした。

「母と子のよい歯のコンクール」では表彰式と記念撮影を行い、保護者からは「表彰式に来て良かった!」「今後も虫歯ができないようにしっかり磨こう!」といった声が多く聞かれ、生涯充実した健康な生活を送るためにも、歯の衛生習慣・歯科疾患の予防の重要性を実感していただく良い機会になったと感じました。

(取材：森 誠)

● 津



6月10日(日)、津リージョンプラザで第24回歯の健康展を開催しました。例年同様、歯科衛生士会や歯科技工士会はもちろん、津市で活躍する食や健康の関連職種の方々の協力を得て、「歯の

衛生週間」関連のコンクールの表彰や図画・ポスターの展示に加え、▽歯の健康相談▽口腔衛生指導とフッ素塗布▽義歯洗浄一等のコーナーを設置。当日は約1,000名の市民が会場を訪れ、一日中慌ただしく対応に追われました。

今年は新しい試みとして口腔がん検診を企画したのですが、約80名が検診を希望して来場。口腔がんに対する認知度の高さに驚かされました。幸い該当する方は一人もいませんでしたが、私たち歯科医師が思っている以上に市民の口腔への関心が高いと感じるとともに、今後の活動への励みとなる一日となりました。

(取材：西尾佐和子)

● 松阪



6月10日(日)、今年も恒例の「歯の健康まつり」がコミュニティ文化センターで開催され、各種コンクールの審査、相談コーナー等で市民と触れ合いながら啓発指導を行いました。特に今年は

「フッ素で虫歯予防」をテーマに掲げフッ化物コーナーを拡充。希望者に洗口やフッ化物塗布を行いました。また、大阪より歯科衛生士の演劇グループ・劇団「わっ歯っは」を招いて、虫歯予防の啓発劇を上演、好評を博しました。

当日は天候にも恵まれ1,800名の市民が来場。薬剤師会・歯科技工士会・歯科衛生士会・栄養士会・食生活改善推進協議会等の関連団体ブースも大賑わい。午後3時半から行われたお楽しみ抽選会も大盛況でした。平成元年から始まった「歯の健康まつり」は、すっかり地域住民に根付いたイベントになっています。

(取材：北野 晋)

● 伊勢



6月10日(日)、ハートプラザみそのにおいて「平成24年度歯の衛生週間事業」として、「親子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒審査」「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクー

ル」の他、80歳以上を対象とした「よい歯でいきいきコンクール」等の表彰を行いました。今年度の最優秀者は両手で杖をつきながら参加されたのですが、付き添いの方は「普段は自分で歩くこともほとんどなかったのに、このコンクールに参加するために自分から歩くようになった」と喜んでおられました。受付業務では各自治体の福祉課・教育委員会の方にお手伝いしていただいた他、審査の待ち時間には伊勢保健衛生専門学校の学生による予防歯科の紙芝居が行われました。表彰式には今年も「観光戦隊イセシマン」が登場、受賞した子どもたちへのメダル授与等で活躍しました。

(取材：富田 薫)

● 志摩



6月10日(日)、志摩市磯部町の生涯学習センターで、平成24年度鳥羽志摩地区「よい歯のコンクール」並びに「歯・口の健康に関する児童生徒図画・ポスター展覧会」が開催されました。今年

は梅雨入り後の開催でしたが幸い天候に恵まれ多くの方々に参加していただきました。

当日は志摩市職員、教育委員会、お達者サポーター、歯科衛生士会、歯科技工士会等の方々の協力の下、健康クイズ、特定健診、かむかむガム、血管年齢の測定、体脂肪測定、介護予防お口の健口体操、お口の相談、矯正相談、キャラクター塗り絵、エプロンシアター、風船、フッ素塗布等、様々なブースが設けられ、来場者の皆さんに歯と口の健康について楽しみながら学んでいただきました。このイベントの様子はケーブルTVでも放映されました。

(取材：大山 洋)

● 尾鷲



今年も「図画・ポスターコンクール」には1,000点を超える応募があり、各校の審査を通過した238点の中から、特選図画には深堀藍人くん(三浦小)と中西百音さん(東小)が、特選ポスター

には毎年力作の応募がある尾鷲中から濱口彩奈さんの作品が選ばれました。「母と子のよい歯のコンクール」は、3歳児歯科健診を受けた母子231組の中から5組を選出、その中から最優秀に紀伊長島区の吉良宏美さん・絵溜香さん、優秀に尾鷲市の大門利江子さん・夏子さんが選ばれました。「よい歯の児童生徒」は小学校12校、中学校5校の計17校の代表が二次審査を受けました。最優秀には谷川智洸くん(尾鷲小)と小林大悟くん(三船中)が選出され、中学校では昨年に続き、早くから保育園児を対象にフッ化物洗口を含む保健指導を続けてきた海山区からの選出となりました。

(取材：松井俊哉)

● 南紀



6月7日(木)、南牟婁郡御浜町中央公民館3階にて「よい歯の児童生徒の審査」及び「歯科保健図画・ポスターコンクール」の審査が行われました。

た。須川会長は挨拶の中で、フッ化物含有歯磨剤の使い方等、う蝕予防について説明、参加者は興味深そうに聞き入っていました。「よい歯の児童生徒」については会員4名が審査を担当し地区代表を選出。「図画・ポスターコンクール」では今年は特に細かいところまで描きこまれた力作が目立ちました。

「母と子のよい歯のコンクール」の審査も同日、熊野市の保健福祉センターで実施され、こちらでは会員2名が審査を担当。山田 妙さん・千尋さん母子が県審査に臨むことになりました。

(取材：畑中保宏)

● 伊賀



6月10日(日)、名張市武道交流館いきいきで「よい歯のコンクール」が開催されました。昨年から日曜開催としたこのイベント、被表彰者のご両親やご家族等多数に来場していただくことがで

き、今年も大変な賑わいとなりました。当日は母子10組、児童42名、生徒15名、図画・ポスター3点を対象に審査が行われた他、並行して▽無料歯科健診▽歯科相談▽歯科パネル展示▽歯科衛生士会によるエプロンシアター、手作り模型によるおやつ指導、咀嚼ガム体験コーナー、口腔ケアグッズ紹介▽歯科技工士会による歯科模型、補綴物展示一等が行われ、参加者の関心を集めていました。

表彰式では各コンクールの被表彰者全員が壇上で賞状を授与されました。写真撮影タイムも設けられ、たくさんのご家族がカメラやビデオを手に舞台そばに集まり、熱心に撮影していました。

(取材：関田英紀)

こども110番の歯科医院



三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会の協力のもと、日本の将来を担う宝である子どもたちを守るために、平成18年6月より「こども110番の歯科医院」制度を導入しました。これは、不審人物につきまといわれたり、声をかけられたりした子どもたちが歯科医院に駆け込んできた場合、子どもを保護し、警察への通報等の対応を行うものです。

私たちは、子どもたちの笑顔を守り、明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えています。

●「こども110番の歯科医院」の皆様へ

三重県歯科医師会では「こども110番の歯科医院 対応マニュアル ― 子供たちを犯罪被害から守るために ―」を作成しています。ご活用下さい。



三重県歯科医師会会員の皆様へ

わが国では少子高齢化が進む一方で、乳幼児期、学童期の子どもたちへの虐待が年々増加しています。三重県歯科医師会が平成17年度に三重県健康福祉部の協力を得て実施した要保護児童歯科調査結果では、

虐待が疑われる要保護児童においては、う蝕経験者率が有意に高く、う蝕になった歯が処置されている率が有意に低いという結果が出ています。

歯科医療従事者は、乳幼児集団歯科健診や歯科相談、学校歯科健診、歯科診療所等において、日常的に子どもや養育者に接する機会が多く、専門家の立場から虐待の早期発見に関わるべきことが提唱されています。

本会と三重県では8020運動推進特別事業の一環として、子育て支援の観点から「歯科医の立場からの児童虐待防止と子育て支援（児童虐待防止マニュアル）」を作成しています。児童虐待の早期発見・予防の一助となるよう取り組んでいくために、ぜひご活用下さい。



日本歯科医師会・三重県歯科医師会

平成24年度 生涯研修セミナー

平成24年6月24日（日）

三重県歯科医師会館

生きるよろこびを支える歯科医療

～全てのライフステージの健康に寄与するために～



6月24日（日）、三重県歯科医師会館で生涯研修セミナーが開かれた。今年度の生涯研修セミナーは「生きるよろこびを支える歯科医療～全てのライフステージの健康に寄与するために～」をテーマに6名の講師が2名ずつの3チームに分かれて全国で講演を行っている。東海信越地区では今年度この日の三重県と12月の静岡県で開催されることになっており、三重県会場には千葉英史先生（千葉県開業）と加藤武彦先生（神奈川県開業）のAチームが講師として訪れた。午前・午後の1日コースで組まれたプログラム、午前は千葉先生が「初診からメンテナンスまで～歯科診療のポイント～」と題して、午後は加藤先生が「在宅往診における義歯治療～食べる喜びもう一度～」と題して講演。いずれも豊富な臨床経験に裏付けられた説得力ある内容で、会場を埋めた聴衆は最後まで熱心に耳を傾け、各講演の後にも活発な質疑応答が行われる等、充実したセミナーとなった。

初診からメンテナンスまで

～歯科診療のポイント～

千葉県開業・千葉英史



今回は1997年6月に初診で訪れた患者を例に初診からメンテナンスまでのお話をさせていただきます。一連の経過を、①初診 ②診査 ③治療計画と患者説明 ④歯周基本治療 ⑤骨縁下ポケットへの対応 ⑥エンドペリオ病変への対応 ⑦MTM ⑧補綴処置 ⑨メンテナンスの9つのポイントに分けて追っていきましょう。

初診時の対応

初診時には主訴への的確な対応が必要であることは当然だが、同時に個人差への対応を大切に考えている。歯のレベルでは部位特異性を、口腔のレベルでは個体差を考慮しなければならないが、患者一人ひとりの違い＝個人差にも十分な配慮が求められる。▽性格▽生活習慣▽健康観▽時間的、経済的条件▽（プラークコントロールの）器用さ▽咀嚼、審美、発音に関する要求度▽歯に対する価値観▽歯科医療への信頼度▽診療への恐怖心—こうした情報を、初診時の診療申込書（自由に記入できる欄を設けるとよい）等を活用して、初診時に把握するよう努める。そして、患者に対してはよく患者の話を聞き、かつ柔らかな受容の態度

と説明（現状説明と予言、術者の思いを含む）をもって臨み、時にチャンスを待つ姿勢も必要である。

診査

私の診療所では一口腔一単位として考え、初診時の応急処置を終えてから、その必要性を説明したうえで規格性の高いX線写真、口腔内写真及びスタディモデル等による全顎の診査を行う。併せて問診等により疾患や障害の背景を知り、個体の特徴をとらえるように努める。診査によって得られた情報は「歯」「口腔」「患者」のレベルに分けて整理する。

治療計画と患者説明

ここでは、▽柔軟性のある治療計画を立てる▽分かりやすい現状説明を心がける▽慢性疾患、生活習慣病に対する理解を得る▽希望を持って治療に取り組めるように配慮する▽対話によって互いに納得する治療計画に導く—等が重要である。

治療計画に柔軟性を持たせるためには、理想と考える治療や処置を第一計画とし、今回行った方が良い治療や処置を第二計画、今回行わなければならない治療や処置を第三計画として提示するという方法をとっている。

患者への説明と話し合いには30～40分の時間をかけることが多い。主にレントゲン写真を使って説明している（患者も客観的に見られる）。模型も併用するが、口腔内写真は初診時の撮影は避けているので治療計画の説明には用いないことが多い。また、こうした話し合いの内容はその後の口腔衛

生指導を担当する歯科衛生士が、患者の反応等も含め記録に残しておく。治療計画の相談を行ったら、モチベーションが高いうちに歯科衛生士による口腔衛生指導を始める。

歯周基本治療

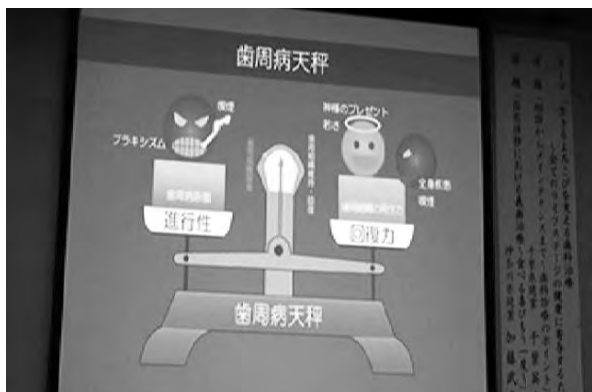


図1 歯周病天秤

歯周基本治療のポイントは以下のとおりである。
 ▽患者を知りモチベーションを強化する
 ▽個体の特徴を把握する
 ▽患者に合った口腔衛生指導を意識する
 ▽可及的な除去と適切な根面処置を行う
 ▽炎症、ポケット、動揺等の変化を観察し、状態に合わせた指導や治療を心がける
 ▽必要に応じて咬合調整、暫間固定等の力のコントロールを行う。

歯周病治療に影響する患者の個体差としては、
 ▽全身疾患
 ▽歯周組織の質
 ▽歯の形態、歯列不正、欠損
 ▽痛みの閾値
 ▽開口量、嘔吐反射一などが挙げられる。また、成人性歯周炎の場合には遺伝子・歯周病原菌・免疫応答・咬合力等の要素が臨床的には「罹りやすさ（罹患度）」「進みやすさ（進行性）」

性）」「治りやすさ（回復力）」として現れる。この違いを考慮しながら患者への対応を選択する。歯周病治療はこの「進行性」と「回復力」を天秤にかけるような作業（図1）であり、進行性因子をなるべく減らし、回復性因子を増強するよう努める。

骨縁下ポケットへの対応

骨縁下ポケットへの治療法としては、①抜歯、抜根 ②骨整形、骨削除 ③歯周外科により再付着と骨修復または新付着と骨再生を期待する ④ポケット底、骨欠損底を歯冠側に移動させポケットをなくす ⑤炎症のみ除去し骨縁下ポケットはそのまま安定を図る一等がある。

骨縁下ポケットの治療チャートを図2に示す。急性症状の消退を図ってから基本治療を行い、安定が得られた場合はそのまま経過観察を続けられればよい。不安定な場合には、抜歯・抜根か保存的対応かを選択することになる。保存的対応の場合は骨欠損の形態により治療法が分かれる。3～2壁性の骨欠損の場合は骨修復を行う歯周外科が適応できる可能性がある。逆に1または4壁性の場合は歯牙移動（MTMまたは自然挺出）による欠損形態の改善を図ることになる（歯周外科を適応する場合はその目的が起炎性物質の除去に限定される）。

骨縁下ポケットへの対応に当たっては、順序立てて対応を考えるとことや他の疾患及び急性炎症に惑わされないことが大切である。

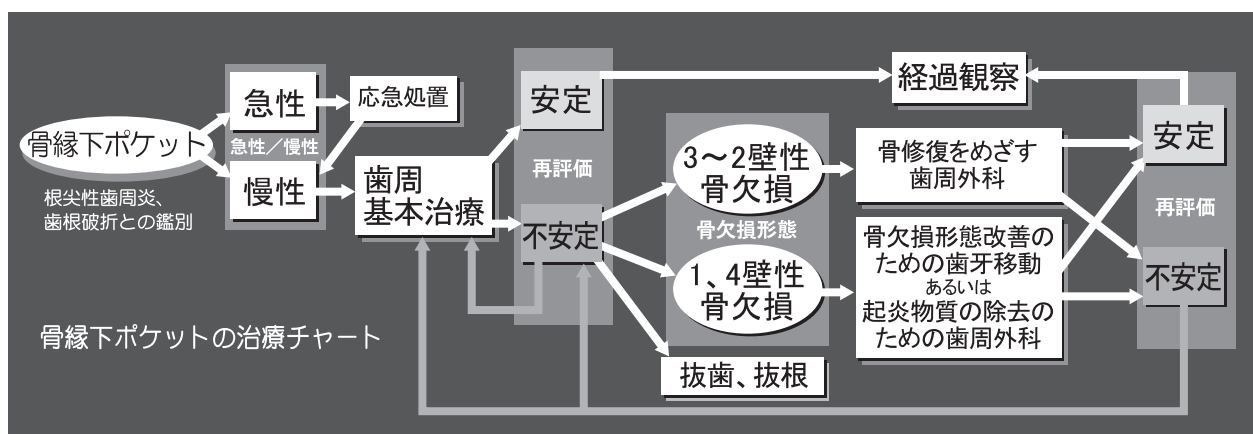


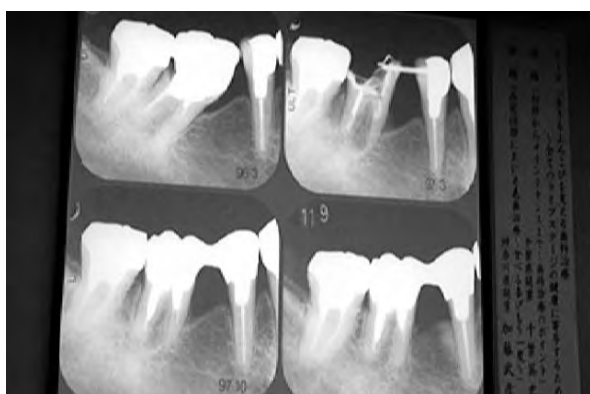
図2 骨縁下ポケットへの対応

エンドペリオ病変への対応



エンドペリオ病変のチェック項目には、①プロービングデプス ②炎症の状態（急性or慢性）③歯髓の状態（正常or歯髓炎or失活）④外傷性咬合の有無 ⑤X線写真における透過像の形態（巾着型、漏斗型）⑥全顎の状態、患者の年齢等一が挙げられ、臨床ではこれらの情報を総合して慎重に鑑別診断を行う必要があるが、①②③が3大診査項目であり、まずはプローブを持って以下、順序立てて鑑別していく。急性期は判断が難しいので慢性化を待って診断した方が良い場合もある。

MTM



MTMの目的は、▽形態的、機能的に調和した歯列にする▽小児において正常咬合へ誘導する▽歯をより良い状態で保存する（残根の挺出等）▽歯にかかる力をコントロールする（アップライト等）▽歯周環境を整える／清掃性を向上させる一である。MTMができると臨床の幅が広がり、救える歯が増え、より良いメンテナンスにつながる所以取り入れておきたい。

補綴処置

補綴処置を行うに当たっては、▽咬合の調和と安定▽歯周組織との調和▽より自然な装着感一を大切にしている。それを実現するためには、▽必要十分な補綴前処置▽プロビジョナルレストレーションの活用▽最終補綴物へのスムーズな移行▽適合と咬合接触関係の精度追及一が必要である。

メンテナンス



口腔の健康に関するモチベーションを維持するために、またクリーニングや予防処置によって疾患の発生や進行を抑えるために、そして小さなほころびを繕って大きな破綻を生じさせないためには、患者と関わり続けることが大切である。メンテナンスを継続するには、①患者の訴えをよく聞き、しっかりと対応する ②モチベーションは歯科医師が中心になって行う ③メンテナンスをも考慮した治療計画を立てる ④治療の効果、メンテナンスの効果をきちんと伝える ⑤残っている問題、今後のリスクなどを説明する ⑥負担にならないメンテナンスを心がける。

「負担にならないメンテナンス」とするためには、①メンテナンス間隔は患者ごとにプラークコントロールのレベルリスクや状況に応じて決める ②定期的な健診とメンテナンスはなるべく1回で終わる ③X線診査、口腔内写真撮影は必要最小限とし、予告して行う ④クリーニングは気持ち良さを感じてもらえるように ⑤待ち時間・挨拶・休憩等に配慮する。

（学術委員・村田幸一朗 記）

在宅往診における義歯治療

～食べる喜びもう一度～

神奈川県開業・加藤武彦



私たち歯科医師が作っている義歯が、あまりにも使われていないという現実がある。往診で義歯を作ってはもらったけれど、「摂食嚥下や言語治療のじゃまにこそなれ、役に立ったためしが無い」等という話をあちこちで聞く。巧くいかない原因は顎堤が吸収しているからだ、と患者のせいにされてしまう。しかし本当にそうだろうか。

Gysiの歯槽頂間線法則は顎堤の条件が良い場合は義歯の維持安定に寄与するが、これにこだわっていると顎堤吸収が著しい場合には交叉咬合のように、元来天然歯があった場所ではないところに人工歯を排列することを強いられてしまう。

昔はペリオでもエンドでも少々悪くなると抜歯してまだ歯槽骨が十分残っている状態で義歯を作っていたから歯槽頂間線法則に則った義歯で巧くいっていたのだが、もはやそんな時代ではない。高齢化が進み、義歯の使用歴が長く顎堤の著しく吸収した患者が非常に増えている。こうした症例では歯槽頂間線法則よりもデンチャースペースを重視した義歯の方が有効である。デンチャースペースとは、かつて天然歯と支持組織によって占められていた場所であり、義歯は歯と失われた骨

(顎堤)を補うことによりそのスペースを埋める。本来、歯牙があった場所は舌や口唇や頬の筋圧が均等にかかるので義歯が安定する。顎堤吸収が進んだ高齢者の義歯では、残っている歯槽骨に頼るのではなく失われた歯槽骨を補い、それによって周囲組織の力を利用する義歯が必要なのだ。

近年、歯科界からも摂食嚥下障害にアプローチする機会が増え、研修会も盛んに行われている。確かに摂食嚥下のメカニズムを学ぶことも必要だろう。しかし在宅での往診治療で遭遇する症例は脳卒中等の発症から長期間経過した例が多く、そこでは確かに「むせ」や「咳き込み」等の嚥下障害的な症状はあるものの、麻痺自体はすでに治癒しているにもかかわらず廃用により機能低下が起きているケースが少なくないように感じる。誤嚥が生じる原因の多くは口腔期の障害にあるという指摘もある。適切な口腔ケアやしっかりと機能回復が図れるデンチャースペース義歯があれば嚥下機能が回復できることも多い。

患者から請われれば気軽に訪問診療に出かけることを薦めたい。そして患者が不自由なく食事ができるか、つまり自分の治療の結果がどうなっているかを確認しよう。咀嚼や嚥下に障害がないか、患者を丹念に観察することにより様々なことを教えられ、なすべきことが見えてくるはずだ。

今まで歯科医療関係者が持っていた知識や技術に、ほんの少しばかり新しい知識・技術、そして道具を加えるだけで、歯科医師本来の職域で高齢化社会の問題に大きく寄与できる。そのことを私たちは知っておくべきである。

(学術委員・萬代慶太 記)

平成24年度 歯科衛生士講習会

平成24年6月17日（日）

三重県歯科医師会館



6月17日（日）、歯科衛生士講習会が開かれた。三重県歯科医師会が現役の歯科衛生士だけを対象にした講習会を開催するのは今回が初めて。従来から県歯会員診療所のスタッフを中心に学術研修会等へ参加するケースはあったが、平成22年から離職歯科衛生士を対象とした復職支援講習会を実施する中で歯科衛生士の卒後研修を望む声が多いことが分かってきたことから、今年度より新たに歯科衛生士講習会として企画することとしたものだ。実習を含む講習会を企画したこともあり100名に限定して参加を募ったのだが、定員は数日でいっぱいになり、こうした機会を望む歯科衛生士が多いことが証明された形になった。当日は平成23年度の歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業に係る研修会でも講師をお願いしたエイチ・エムズコレクションから福田知恵子氏・今井梨恵氏・林 絵美氏を迎え、「プラークコントロール～理論と実践」と題して午前には講義、午後には実習という一日コースの講習が行われた。日常診療では当たり前のように行っているブラッシング指導だが、受講者からは今回の講習会で改めて気付かされるのがたくさんあったとの声が聞かれた。

講習会は、講師陣からの「歯科衛生士にとってプラークコントロールと向き合うことは日々の習慣だが、患者さんにとっては理解できても実行することが難しいコンテンツ。だからこそ私たちは患者さんとのコミュニケーションを通じて互いの意識や感覚のギャップを埋め、良好で効果的な保健行動に導くプロフェッショナルな能力が必要になる。今日の講習会では臨床に役立つプラークコントロールの情報を一つでも多く持ち帰って欲しい」との言葉からスタートした。

午前中の講義では、プラークコントロールについて、以下のように解説された。

プラークコントロールは「病気を予防すること」「病気を再発させないこと」が目的であり、単に歯をきれいに磨くことだけではなく、適切なプラークコントロールが継続されることが重要であり、endless な作業と考えるべきである。従って、ただ「磨く」ことを奨めるのではなく、プラークコントロールの意味を歯科衛生士・患者双方が理解し、協力することが必要である。

これからの歯科衛生士に求められるプラークコントロールのスキルは、患者一人ひとりに合ったプラークコントロール方法をプランニングし、結果を出し、継続させる力である。ブラッシング指導や治療説明は押し付けではなく「患者さんへのプレゼント(Presentation)」と考え、患者が聞いて良かったと思う話を選択しなければならない。そのためには、患者を保健行動へ導くために必要な情報を収集するとともに、患者がどのレベルの知識を必要としているかを判断できなければならない。



実際のブラッシングでは、学校で学んだようないくつかのブラッシング法やたくさんの種類の歯ブラシの中から適切なものを選択し組み合わせることになる。歯間ブラシやデンタルフロス等の補助清掃用具を加えればさらに多くのバリエーションが存在することになる。ブラッシング指導は画一的になりがちだが、本来は「これだけやっていれば大丈夫」という方法があるわけではない。患者一人ひとりにオーダーメイドのブラッシング法を指導するためにも十分な知識・情報を身につけておきたい。



午後は、ブラッシング指導の実習が行われた。まず歯牙植立模型と人工プラークを使い、いろいろな形状の歯ブラシで、スクラビング法・フォーンズ法・ローリング法等の各種ブラッシング方法を歯間隣接面・平滑面に分けて比較した。ブラッシングの方法により刷掃効果には大きな違いが認められ、受講者からは驚きの声が上がった。続いて術者役と患者役に分かれて染め出し液を使ったブラッシング指導を行った。ほとんどの受講者が、

日々ブラッシングを指導する立場には立っていても自分がブラッシング指導を受ける側になるのは養成校時代以来。ここでも改めて気付くことが多かったようだ。最後に実際に電動歯ブラシを使い自分の歯を磨く時間も設けられた。自ら使用することで電動歯ブラシの利点・欠点を実感し、そのうえでグループディスカッションを行い、患者への説明方法について検討した。

(理事・桑名良尚 記)

受講者体験記♪

鈴鹿市・宇利良美さん

私はTBIを行ってもなかなか患者さんの口腔内に変化が認められないと「なぜこの患者さんは磨いてくれないのか」とがっかりすることがあったのですが、今回の講習を受けて、これは私自身がどこかで「結果が出ないのは患者さんに原因や責任がある」と考えていたからだと気付かされました。今までの私はどの患者さんに対しても似たような歯ブラシを奨め、同じような磨き方を伝えていたように思います。でも、患者さんはそれぞれの口腔内の状態や生活習慣、手先の器用さ等に違いがあるのでワンパターンの内容では受け入れられないのは当然のこと。今回実習で行ったように様々なブラッシング法や歯ブラシの利点、欠点を把握して、「この患者さんにはどれが一番磨きやすいか」を考え、一方的なTBIではない、より患者さんに受け入れてもらえるTBIができるようになりたいと思いました。

鈴鹿市・川喜田麻由さん

今回の講習会では、ついワンパターンになりがちな患者さんへのアプローチの仕方について多くを得ることができました。「プラークコントロールとは歯をきれいに磨くこと」と考えていましたが、本来の目的は「病気予防、再発を防止すること」であり、「結果を出すプラークコントロール」とは、患者さん固有のリスクに合わせたプラークコントロールの優先順位を示し、患者さんに自信と結果への期待を持たせることだと学びました。日頃、患者さんと接する時には、ついあれもこれもと情報を詰め込み過ぎてしまいがちですが、リスクに合わせたピンポイントな指導で課題を一つひとつ克服し、かつ継続させることが大切だということも教えていただきました。そして、患者さんと歯科衛生士でプラークコントロールのできる所、できない所を明確に役割分担し、患者さんにブラッシングを押し付けるのではなく自立をサポートする体制づくりが必要で、歯科衛生士はそうしたコントロールプラン立案のための知識、テクニックを身につけなければならないことを痛感しました。今回の講習会では、歯科衛生士としての臨床での経験と指導者としての客観的な意見の両方を聞くことができ、参考になることばかりでした。今後も、患者さんを良好な保健行動に導くプロフェッショナルを目指して勉強していきたいと思います。

伊勢市・阪口 彩さん

私は歯科衛生士養成校を卒業してから2年を過ぎたところなのですが、今回の講習会では学校で学んだ基礎的な知識を再確認し、新しい情報を取り入れる良い機会となりました。午前中の講義では、プラークコントロールはただ「磨くこと」を奨めるのではなく、歯科衛生士と患者さんが協力し合うことが重要だと教えていただきました。私自身のTBIを振り返ると、磨くことばかりに気を取られ独りよがりな指導をしていたと反省しました。また、患者さんに分かりやすく簡潔に説明するためには、私たち歯科衛生士がきちんと理解していなければ伝わらないことにも改めて気付かされました。午後の実習では、歯磨剤や歯ブラシの特徴を、実験を通してつかむことができました。また、普段あまり使用することのない器具に触れたり、他の受講者の方々と情報交換したりすることができたことも貴重な経験となりました。

平成24年度

June

第3回理事会

平成24年6月10日（日）

三重県歯科医師会館

福祉厚生委員会の互助会见直し案を提示



6月10日(日)、平成24年度第3回理事会が開かれた。一般会務報告では日本歯科医師会会長予備選挙における三重県歯選挙人選挙について、6日(水)までに立候補した4名の当選が決定したことが報告された。各委員会からは5月12日(土)に開催された東海信越地区役員連絡協議会における各分科会での協議内容について詳しく報告された他、福祉厚生委員会が取りまとめた互助会见直し案が辻(哲)常務理事より示された。これを受けて、第1回定時代議員会に機構改革特別委員会を設置するための議案を上程することが決定された。

委員会事業報告

【社会保障委員会】

- ・ 東海信越地区役員連絡協議会(5/12)、新規集団指導(5/31)について

【医療管理委員会】

- ・ 東海信越地区役員連絡協議会(5/12)、三重県救急医療情報センター理事会(5/29)、歯科相談(3件)、歯科診療時等において使用される手指用保護具(口腔用)の事故等に係る医療

機関並びに介護保険施設等及び障害者支援施設等の施設管理者に対する注意喚起、平成24年度「歯科医療従事者に対する感染症予防講習会」の実施、平成25年3月新規中学校・高等学校卒業予定者の就職のための推薦及び選考開始期日等、税務調査についてのアンケートのお願い、植村顧問三歯会報6・7月号記事「住宅取得等資金の贈与税の非課税制度の改正について」、

平成24年度歯科衛生士復職支援講習会の開催日の変更、職業説明会(6/14)(講演歯科衛生士)について

【学術委員会】

- ・ 東海信越地区役員連絡協議会(5/12)、第1回郡市会学術担当者・学術委員合同連絡協議会、第1回学術委員会(5/31)、第12回日本スポーツ健康づくり歯学協議会(6/9)、学術情報提供「Er:YAGレーザーその2」、地区助成金事業について

【福祉厚生委員会】

- ・ 東海信越地区役員連絡協議会(5/12)、福祉厚生委員会(5/31)、互助会第1部支給(5/9～6/8申請分)について

【公衆衛生委員会】

- ・ 四日市学校保健会平成24年度総会における講演会(5/10)、東海信越地区役員連絡協議会(5/12)、歯科保健指導媒体作成打合せ会、第17回三重県歯科保健大会第1回実行委員会、平成24年度産業保健研修会(上半期)(5/17)、

三重県訪問看護ステーション連絡協議会役員会総会及び中央研修、第4回三重子どものこころネットワーク会議(5/20)、児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導打合せ会、第1回食支援担当者会議(かむかむ)(5/24)、歯みんぐ24打合せ会(5/29)、日本学校保健会評議員会(5/31)、みえ歯ートネット研修会、地区学校保健会での歯科保健研修会講演メニュー、第18回日本子ども虐待防止学会への一般発表、歯科保健活動に関するアンケート調査の実施、第4回かむかむクッキングコンクール、学校歯科保健研修会、第61回三重県学校歯科衛生士大会について

【広報編集委員会】

- ・ 東海信越地区役員連絡協議会(5/12)について

【企画調査委員会】

- ・ 東海信越地区役員連絡協議会(5/12)について

協議事項



1. 郡市会長会議の招集並びに附議事項について
2. 第1回定時代議員会の招集並びに附議事項について
3. 公益社団法人移行記念式典について

4. 郡市歯科医師会の公益法人制度改革の対応について
5. 会務並びに事業の運営について
 - (1) MDAセミナーについて
 - (2) 県歯会機構改革について(会費・終身会員・互助会等)
 - (3) 第17回三重県歯科保健大会について
 - (4) 入会時の手続き方法について
 - (5) 災害時の対応・体制の整備について
6. その他
 - (1) 諸規程の制定について
 - (2) 有期雇用契約職員の雇入れについて(歯科保健推進緊急雇用創出事業)

平成24年度

June

第2回郡市会長会議

平成24年6月28日（木）

三重県歯科医師会館

三層構造維持のための入会手続き等を確認



6月28日(木)、第2回郡市会長会議が開かれた。峰会長は挨拶の中で、社会保障・税一体改革についての三党合意及び消費税増税法案の可決について触れ、社会保険診療報酬への課税問題について中医協の消費税分科会の議論等を注視していくと述べた他、厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会に提出された歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(案)、歯科技工士国家試験の全国統一化や歯科衛生士法の一部改正に関わる動きについて報告した。芝田専務理事は協議の中で、公益法人制度改革への対応に関連して、三層構造を円滑に維持していくため、会員種別や入会時の手続き等についての郡市会での配慮を求めた。

一般会務報告



(芝田専務理事)

会員数

平成24年4月1日～6月1日の期間で入会3名、退会3名。現会員数859名。

平成24年度会員全体講習会（MDAセミナー）について

7月19日(木)に三重県文化会館中ホールで開催する。峰会長及び大杉常務理事による講演を予定（P.32参照）。

代議員会の出欠・委任・議決権行使について

代議員が代議員会を欠席する場合、議決権行使書により議決権の行使が可能となるが、各代

議員においてはできる限り予備代議員に議決権を委任することを期待したい。

委員会事業報告

【学術】（林理事）

平成24年度学術研修会助成について

平成24年度学術研修会助成については例年同様の要綱に基づいて実施する。

日歯生涯研修セミナーについて

6月24日(日)に三重県歯科医師会館で開催した日歯生涯研修セミナーは148名が出席した。

平成24年度マウスガード講習会について

日本スポーツ健康づくり歯学協議会・杉山義祥会長を講師に迎え、9月30日(日)に開催する予定。実習も含む内容。

【公衆衛生】（羽根常務理事）



8020運動推進特別事業実施施設について

県内の保育園・幼稚園で実施しているフッ化物洗口推進事業については、今年度に入り実施施設数も増加している。今後は手続きの簡素化も含め、より実施しやすいシステムにしてい

たい。

【社会保障】（大杉常務理事）



平成24年度集团的個別指導について

8月30日(木)に開催される予定。

施設基準の届出状況等の報告について

7月中旬に各医療機関に発送される。8月13日(月)までに提出のこと。

【医療管理】（辻(哲)常務理事・桑名理事）

職場体験・インターンシップ・ジョブシャドウイング受入事業所について

今年度も夏休みに高校生を対象とした職場体験事業を実施する。

医療ネットみえ運営状況について

運営状況の資料によると、夜間に乳幼児と高齢者の利用者が多い。運営上、歯科関連での問題点の指摘はなかった。

協議事項

機構改革特別委員会の設置について

芝田専務理事より機構改革特別委員会設置の趣旨説明が行われた。互助会規定、終身会員の殊遇、会費の賦課徴収に関する件等を審議する予定。

入会時の手続きについて

4月に引き続き、入会時の手続きについて協議された。郡市会及び県歯・日歯の入会手続きの手順を再確認した。

(広報編集委員・井上 博 記)

第1回定時代議員会

平成24年6月28日（木）

三重県歯科医師会館

機構改革特別委員会設置を決定 次期日歯会長選挙の選挙人7名を選出



6月28日(木)、公益社団法人移行後、初の代議員会が開催された。従来、三重県歯では7月に決算代議員会を招集してきたが、法人法では事業年度終了から3か月以内に決算に係る定時総会（代議員会）を開く必要があるため、この時期の開催となったものだ。この日は第6号議案として上程された平成23年度決算を含む8つの議案が上程され、全て可決承認された。また、懸案の機構改革特別委員会についても第2号議案として提案され設置が決定した。委員は後日、各郡市会及び執行部から選出される予定。また、この日は次期日歯会長選挙の選挙人の選出及び平成23年度三重県歯科医師会歯科保健衛生賞の表彰も併せて行われた。

選挙管理委員会報告



まず選挙管理委員会の中西委員長より次期日歯会長予備選挙について、6月6日(水)までに立候

補した4名(山本 修代議員・星野良行代議員・渡部洋三代議員・鎌谷義人代議員)の当選が決まったことが報告された。三重県の選挙人定数は7名となっていることから、残る3名の選挙人については規定に従い代議員または理事から互選することとなったが、議場から「議長一任」の声が上がったため、服部 修議長により、長井雅彦代議員及び執行部から田所・中井両副会長が選挙人に選出された。補欠選挙人については現在、日歯予備代議員を務めている羽根司人、太田賢志両常務理事が選ばれた。

会長報告



社会保障・税一体改革について

消費税増税法案を含む社会保障と税の一体改革関連法案が6月26日(火)、衆議院本会議で可決された。これにより消費税率は平成26年4月に8%、27年10月に10%に引き上げられる見込みとなった。現在、社会保険診療報酬は非課税だが、医療機関は薬剤や医療材料等の仕入れ時に消費税を負担しており、これに対する診療報酬による補填が十分でないとして問題視されてきた(医療における控除対象外消費税問題)。このまま消費税率が引き上げられれば、控除対象外消費税が医療機関の経営を圧迫する恐れがある。閣議決定では消費税10%までは診療報酬は非課税の取扱いのまま診療報酬による補填等で手当てするとしているが、中医協でも6月20日(水)に「医療機関における消費税負担に関す

る分科会」が初会合を開き検討作業が始まっている。今後の議論を注視していきたい。

歯科口腔保健の推進について

厚生労働省の厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会が厚生労働大臣の諮問に応え、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を取りまとめた。これは昨年8月の「歯科口腔保健の推進に関する法律」施行を受けたもので、①歯科口腔保健の推進のための基本的な方針 ②歯科口腔保健を推進するための目標・計画に関する事項 ③都道府県及び市町村の歯科口腔保健の基本的事項の策定に関する事項 ④調査及び研究に関する基本的な事項 ⑤その他歯科口腔保健の推進に関する重要事項—から成っている。「目標・計画」については別表1～4として平成34年における到達目標が具体的な数値で示されている(7月23日に官報でも告示された)。

歯科技工士国家試験の全国統一化について

歯科技工士は厚労大臣が免許権を持つ国家資格であるにもかかわらず、実技試験を実施するため「国家試験」が都道府県で実施されているという現状があり、日歯も日技と連名で全国統一化を要望してきた。この問題が先日の民主党歯科医療議員連盟で取り上げられており、今後の動向が注目される。

歯科衛生士法の一部改正について

同じく民主党歯科議連で歯科衛生士法の一部改正についても取り上げられた。こちらも日歯が日衛との連名で要望を提出している（詳細は『三歯会報』6・7月号P.11参照）。

歯科医師需給問題について

平成24年度の大学歯学部の入学生状況が明らかになった。私立歯科大学・歯学部のうち震災及

び原発事故の影響を受けた奥羽大学を含め5校が定員割れとなったが、私立歯科大学全体では、充足率は93.7%と前年の83.5%より大きく改善した。近年相次いでいる学費の減額が影響していると思われる。一方で一部の大学で大幅に定員を超過した入学者を受け入れている例があり、この件については日歯執行部も憂慮を示している。

一般会務報告・各事業報告



芝田専務理事より、一般会務報告として平成23年4月1日～24年3月31日の▽会員在籍数（858名）▽会員異動状況（一般会員入会12名、勤務会員入会5名、死亡その他での退会14名）▽諸会議開催状況一が報告された。

続いて同じく平成23年4月1日～24年3月31日の各事業報告が行われたが、今回からは従来の委員会別ではなく公益事業・収益事業・共益事業に大別したうえで、各事業別に報告された。

議事

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 代議員会運営規則の制定に関する件 |
| 第2号議案 | 機構改革特別委員会規則の制定並びに委員の選出に関する件 |
| 第3号議案 | 医療事故処理規則の制定並びに委員の選出に関する件 |
| 第4号議案 | 歯科保健文化賞事業運営規程の制定に関する件 |
| 第5号議案 | 保健衛生賞表彰規程の制定に関する件 |
| 第6号議案 | 平成23年度三重県歯科医師会会計決算の承認を求める件 |
| 第7号議案 | 収益事業部門に於ける平成23年度分税申告に関する件 |
| 第8号議案 | 歯科保健文化賞受賞者に関する件 |

第1号議案は、旧法人でロバート議事規則を元に平成13年7月に制定した代議員会運営規則について、新法人移行に伴い一般社団法人法に沿った変更を行うことを求めたもの。主な変更点は招集手続きに関する条項の追加（第1～3条）、理事・監事等の代議員会への出席義務の条項の追加（第6条）、議長権限の追加（第7条）、出席者数（第

10条：議決権行使書を提出した代議員も出席者に含む）の変更、動議の提出（第29条）の変更等。

第2号議案は3月の第212回定時代議員会で議論に上った互助会規程、終身会員の殊遇、会費の賦課方法の見直しについて審議するための特別委員会規則の制定を求めたもの（「特別委員会」とは代議員会の委任事項を審議する機関であり、特



別委員会は代議員会の議決により特定の事項を審議する、と定款施行規則第16条第3項で規定されている。委員の選出については、各郡市歯科医師会の代議員から1名ずつ選出した11名と執行部からの若干名で構成するとした。

第3号議案は、旧法人で医療事故処理特別委員会規則として制定されていたものを医療事故処理規則に変更しようとするもの。先述の「特別委員会」と区分し新たな規則の中で「医療事故処理委員会」を規定する内容。

第4号及び第5号議案は、それぞれ旧法人での規定と同じ内容の規定を定めるもの。

第6号、第7号議案は一括上程され、芝田専務理事より詳細な会計報告、中藤監事より事務監査

実施報告が行われた。

第8号議案については、第212回定時代議員会で第7号議案として上程され、県当局との協議を経て今回の代議員会で承認を受けることとなったもの。歯科保健文化賞受賞者については歯科衛生に関する各種事業を推進し、研究発表等にも積極的に取り組み、児童生徒等や教職員の意識の向上に努めた功績により津市学校保健会とすることが提案された。

以上、上程された8議案は全て賛成多数で可決された。

(広報編集委員・井上 博 記)

平成23年度 三重県歯科医師会・保健衛生賞受賞者

二井良文	桑員	村林啓司	松阪
坂井 清	四日市	山際貞男	伊勢
河合 勝	四日市	西岡秀穂	志摩
鈴木吉久	鈴鹿	山口薫生	尾鷲
加藤誠康	津	小山 清	南紀
鳴神 茂	津	武田元一	伊賀
辻村和師	松阪		



三重県歯科医師会 公益社団法人移行記念式典

平成24年6月28日（木） 津都ホテル

県知事ら招き公益社団法人への移行を報告



6月28日(木)、津都ホテルにおいて三重県歯科医師会公益社団法人移行記念式典が開かれた。冒頭挨拶に立った峰会長は、三重県歯科医師会が全国の都道府県歯科医師会で初めて公益社団法人への移行を果たしたことを報告するとともに、時を同じくして三重県議会で「みえ 歯と口腔の健康づくり推進条例」が制定されたことについて感謝を述べ、今後も公益法人の名に恥じない活動を続けていきたいとした。来賓からは三重県の鈴木英敬知事、県議会の

山本教和議長、県教委の真伏秀樹教育長がそれぞれ祝辞を述べた。式典に出席した県歯役員及び代議員は、今後の三重県の歯科保健の推進を期して、来賓の各団体代表や県議らと活発な意見交換を行った。



鈴木英敬県知事



山本教和県議会議長



真伏秀樹県教育長



服部 修代議員会議長の発声で乾杯

▲三重県歯科医師会会員の皆様へ広報編集委員会からのお知らせ

えっ、
まだ登録
してないの？

三重県歯科医師会では、すでに約50%の会員が
会員宛配布物E-MAIL&メールマガジン配信の
登録をしています。



会員宛配布物E-MAIL 配信登録

登録者に専用メールアドレスを割り当て！ 冊子・ポスター等を除くほとんどの文書をデータ
配信！ 県内どこでも同時に届く！ 紙ごみ減量、ちょっとエコ♪

三重県歯科医師会メールマガジン

E-MAIL 配信登録者に毎週メルマガも配信！ 三重県歯科医師会の最新情報がいち早くお手元
に！ ホームページ更新情報掲載、新着情報を見逃さない！ 毎月歯科関連ニュースクリップ
をお届け、ネットサーフィンをする暇のない忙しいあなたに最適！

さあ、三重県歯科医師会ホームページ・会員Onlyトップページから

「E-MAIL 配信申込みはこちら」

<http://www.dental-mie.or.jp/only/mail/mousikomi.html>

に、今すぐアクセス！

災害伝言 ダイヤル



会員の皆様へのお願い

大規模災害発生時には、通常の電話
やファックス等の通信手段が使用不能と
なる可能性があります。

会員各自が、右に示すような災害時
用の連絡手段を講じて、自身の安否や
診療継続の可否について、自発的に連
絡していただくようお願いします。

✓ 災害時の連絡手段

- 郡市歯科医師会の連絡網
- iモード災害用伝言板サービス
- NTT災害伝言ダイヤル（171）

詳しくは、[大規模災害時歯科活動マニュアル](#)
(三重県歯科医師会作成/オレンジ色のファイル)
を、ご参照下さい。

平成24年度

July

第4回理事会

平成24年7月8日（日）

三重県歯科医師会館

機構改革特別委員会、メンバーを決定



7月8日(日)、平成24年度第4回理事会が開催された。先の第1回定時代議員会で設置の決まった機構改革特別委員会については、郡市会から1名ずつ選出された委員に加え、執行部から中井副会長ら4名が参加することが決定した。第1回会合は8月30日(木)に開催される。芝田専務理事からは、6月15日(金)に死因究明関連2法が成立し歯科医師の役割や身元確認における歯牙調査について明記されたことや、日歯が「インプラント治療に関する報道等に対する見解」を公表したことが報告された。各委員会からは年度後半に向けた各種事業予定が示され、医療管理委員会では10月のBLS講習会に加え、25年3月に日本歯科麻酔学会との共催によるバイタルサインセミナーが企画されている。

委員会事業報告

【社会保障委員会】

- 第1回社保委員会、社保・国保審査委員会
(歯科) 歯科医師会連絡協議会(6/21)、施設基

準の届出状況等の報告、「薬価基準による歯科関係薬剤点数表(平成24年4月1日現在)」の正誤表(その4)について

【医療管理委員会】

- ・ 歯科衛生士職業説明会（6/14）、歯科衛生士講習会（6/17）、「歯科保健医療情報収集等事業」に係る調査結果報告書、平成24年度バイタルサインセミナーの実施、医療施設における夏期の節電の取組みの進め方、BLS講習会開催案内、歯科相談（8件）について

【学術委員会】

- ・ 日歯生涯研修セミナー（6/24）、都道府県歯科医師会学術担当理事連絡協議会（6/29）、学術情報提供「トウスイウェアについて（その1）」、マウスガード講習会（9/30）について

【福祉厚生委員会】

- ・ 互助会第1部の支給（6/9～7/6申請分）、互助会第3部の支給について

【公衆衛生委員会】

- ・ 8020ワークショップ2012、フッ化物応用マニュアル検討委員会（6/14）、第6回社会歯科学研究会総会・公開研究集会（6/17）、三重県

学校保健会理事会・評議員会（6/21）、歯みんぐ24打合せ会（6/26）、日本学校歯科医会第81回総会（6/27）、マニュアル作成（フッ化物応用、障がい者健診・保健指導、母子手帳活用）、第61回日本医学検査学会健康展、児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導、平成24年度歯の衛生週間各事業審査、食と健康フォーラム講師、みえ歯ートネット研修会の講師、平成24年度歯の健康力推進歯科医師等養成講習会（日歯会場）の実施に関する周知依頼について

【広報編集委員会】

- ・ 第1回広報編集委員会（6/21）、三重テレビ『歯チカラ4』第2回打合せ（7/5）、三重テレビ高校野球中継インフォマーシャルについて

【企画調査委員会】

- ・ 第1回企画調査委員会（6/21）、歯科適用薬の資料について



協議事項

1. 第11回警察歯科医会全国大会について
2. 郡市歯科医師会の公益法人制度改革の対応について
3. 会務並びに事業の運営について
 - (1) MDAセミナーについて
 - (2) 第17回三重県歯科保健大会について
- (3) 三重県歯科医師会機構改革について
4. その他
 - (1) 県行政に対する要望事項について
 - (2) 平成24年3月16日付の答申書に係る移行認定申請書及び添付書類の開示請求について

三重県歯科医師会 全体講習会（MDAセミナー）

平成24年7月19日（木） 三重県文化会館中ホール



7月19日(木)、三重県文化会館で2年ぶりに三重県歯科医師会全体講習会（MDAセミナー）が開かれ、峰会長と大杉常務理事が講演した。

峰会長は「今後の社会保障政策について」と題して、日歯及び日歯連盟の役員として様々な交渉

に関わってきた経験を踏まえ、近年の政局の動向や厚生労働省の組織等、政・官のリアルな姿を紹介しながら、歯科界が直面する諸課題について詳述。続いて演壇に立った大杉常務理事は、24年診療報酬改定での日歯を中心とした取組みについて報告し、関係者の献身的な努力があって初めて今改定での様々な成果が得られたことを強調した。その他、レセプト審査や行政指導の実際、三重県の歯科医療費のデータ等を紹介し、求められる歯科医療をしっかりと提供し、ルールに沿って堂々と請求を行って欲しいと訴えた。

両講演に先立ち、芝田専務理事が会務報告の中で、三重県歯科医師会が公益社団法人の認定を受けるまでの経緯を改めて説明した。

第27回三重県警察医会定期総会

平成24年7月29日（日） プラザ洞津



7月29日(日)、第27回三重県警察医会定期総会が開かれ、6月に国会で成立した死因究明2法案

の概要等が報告された。議事では23年度の事業報告及び決算報告、24年度の事業計画案及び予算案等が審議され、全て滞りなく承認された。引き続き行われた研修会では、岩手医科大学法医学教室の出羽厚二教授が「東日本大震災における死体検案の問題点」と題して講演。身元確認作業に当たった医師・歯科医師の献身的な作業を讃えつつも、今回の現場では泥縄的・場当たりの対応しかできなかった部分も多かったことを厳しく指摘。改めて東日本大震災の経験から学ぶことの重要性を訴えた。

診療所内のLEDランプ取付け工事費用の 税務の取扱い

Q：節電対策として診療所内の全ての蛍光灯をLEDランプに取り替えたいと思いますが、LEDランプ取付け工事費用の税務の取扱いはどのようになるのでしょうか。

A：LEDランプは、①消費電力が少なく電気代の削減ができること、②長持ちすること、③発熱が少ないため空調に与える影響が少なく、エアコンなどに係る負担を軽減できる、④LEDランプの白色光は紫外線をほとんど含まないため、化学薬品に影響が小さく、また虫の飛来抑制になる、⑤安全で軽量というメリットがあります。

LEDランプの形によっては、室内電気工事業者が天井の取付け器具や蛍光灯型LEDランプの取替え工事を行う場合があります。この場合の取付け工事や蛍光灯型LEDランプ取替えの費用については、照明設備（資本的支出）として耐用年数による減価償却をすべきか、支出した時に修繕費にすべきか、判断に迷うところです。

個人または法人が有する固定資産の修理、改良等のために支出した金額のうちその固定資産の通常の維持管理のため、または毀損した固定資産につきその原状回復をするために要したと認められる部分の金額は修繕費となります（所得税基本通達37-11、法人税基本通達7-8-2）。一方、個人または法人がその有する固定資産の修理、改良等のために支出した金額のうち、その固定資産の価値を高め、またはその耐久性が増すこととなると認められる部分に対応する金額は資本的支出となります（所得税法施行令第181条、所得税基本通達37-10、法人税法施行令第132条、法人税基本通達7-8-1）。

ご質問の診療所内の全ての蛍光灯を蛍光灯型LEDランプに取り替えることで、節電効果や使用可能期間などが向上する事実をもって、その有する固定資産の価値を高め、またはその耐久性が増しているとして資本的支出に該当するのではないかと考えられますが、蛍光灯（または蛍光灯型LEDランプ）は、照明設備（建物附属設備）がその効用を発揮するための一つの部品であり、かつ、その部品の性能が高まったことをもって建物附属設備として価値等が高まったとまでは言えないと考えられますので、修繕費として経理処理することとなります。

なお、取付け工事を伴わない従前の蛍光灯を蛍光灯型LEDランプに単品交換する場合は、蛍光灯型LEDランプを購入した時に消耗品費として経理処理することとなります。



6月・7月会務日誌

Association Diary

6月

- | | | |
|-----|--|---|
| 5日 | 常務理事会開催 | 第6回社会歯科学研究会総会・公開研究集 |
| 7日 | 選挙管理委員会開催 | 会に中井副会長、芝田専務理事出席 |
| 9日 | 第61回日本医学検査学会開会式典に峰会長
出席
みえ摂食・嚥下リハビリテーション研究会
第10回世話人会、第9回みえ摂食・嚥下リ
ハビリテーション研究会学術集會に羽根常
務理事出席
第12回日本スポーツ健康づくり歯学協議会
に芝田専務理事、辻常務理事出席 | 21日
議事運営特別委員会、社会保障委員会、広
報編集委員会、企画調査委員会、社保・国
保審査委員会（歯科）歯科医師会連絡協議
会開催
三重県学校保健会理事会・評議員会に中井
副会長、杉原理事、福森理事出席 |
| 10日 | 理事会開催
第61回日本医学検査学会健康展に福森理事
出席 | 21・22日 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業
主任者技能講習に羽根常務理事出席 |
| 13日 | 8020推進財団第3回評議員会に峰会長出席 | 24日 日歯生涯研修セミナー開催 |
| 14日 | 歯科衛生士職業説明会、フッ化物応用マ
ニュアル検討委員会開催
8020ワークショップ2012に羽根常務理事出
席 | 27日 日本学校歯科医会総会に中井副会長出席
28日 第1回定時代議員会、郡市会長会議、三重
県歯科医師会公益社団法人移行記念式典開
催 |
| 17日 | 三重県歯科医師会歯科衛生士講習会開催 | 29日 都道府県歯科医師会学術担当理事連絡協議
会に林理事出席
30日 岐阜県歯科医師会創立100周年記念式典に
峰会長出席 |

7月

- | | | |
|-----|--|---|
| 3日 | 常務理事会開催 | 14日 第1回東海信越地区歯科医師会会長・専務
理事連絡協議会、第1回東海信越地区歯科
医師会会長・副会長・専務理事・日歯代議
員連絡協議会が静岡県にて開催され峰会長、
田所副会長、中井副会長、芝田専務理事、
羽根常務理事、太田常務理事出席 |
| 5日 | 平成24年度歯の衛生週間県審査、歯・口の
健康に関する図画・ポスターコンクール県
審査、よい歯の母と子並びに児童生徒の県
審査、公衆衛生委員会開催 | 15日 日本法歯科医学会第6回学術大会が東京都
にて開催され熊谷理事、陣田会員出席 |
| 8日 | 理事会開催 | |
| 12日 | 第1回准看護師試験委員会に太田常務理事
出席 | |



- | | |
|---|---|
| <p>17日 三重県警察官友の会理事会・総会に田所副会長出席</p> <p>18日 次期医療計画に向けた都道府県歯科医師会担当者連絡協議会に芝田専務理事出席
日本歯科医師会第2回税務委員会に太田常務理事出席</p> <p>19日 MDAセミナー、医療管理委員会開催
東海ブロック学校保健会連絡協議会に中井副会長出席</p> | <p>24日 日本歯科医学会第88回評議員会に峰会長出席</p> <p>25日 日本歯科医師会成人歯科保健・産業歯科保健に関する打合せ会に羽根常務理事出席</p> <p>26日 第17回三重県歯科保健大会第2回実行委員会開催
三重県三師会幹事会に峰会長、田所副会長、中井副会長、芝田専務理事出席</p> <p>29日 第27回三重県警察医会定期総会に役員、郡市長、警察歯科医出席</p> |
|---|---|

会員消息 Member's News

本会会員数 (8月1日現在)

正会員第1種(一般)	691名
正会員第2種(勤務)	25名
正会員終身	131名
準会員第3種(法人)	8名
準会員第4種(直属)	2名
長期の疾病等の会員	1名
計	858名

日歯会員数 64,990名 (6月30日現在)

謹んでおくやみ申し上げます



永野美智子先生(四日市)
去る7月7日、お亡くなりになりました。
享年83歳

FAX番号変更

新美敦司先生(四日市)
(診) FAX 059-353-0556

診療所名変更

堀 隆一、堀 佑輔先生(亀山)
堀デンタルクリニック



障害者歯科センター診療状況

6月

診療日	7日
診療担当者	常勤1名、非常勤4名 内訳・会員2名、大学2名
延患者数	111名

7月

診療日	7日
診療担当者	常勤1名、非常勤3名 内訳・会員1名、大学2名
延患者数	120名

平成24年2月診療分歯科診療報酬状況（三重県）

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.9	615.2	1,144.1	2.0	626.3	1,235.8
	家族	1.7	566.6	956.2			
後期高齢者医療		—	—	—	2.1	681.8	1,428.1

平成24年3月診療分歯科診療報酬状況（三重県）

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.9	617.2	1,184.4	2.0	623.7	1,238.7
	家族	1.7	569.1	953.5			
後期高齢者医療		—	—	—	2.1	670.8	1,415.5





告知板

Information

日本歯内療法学会中部支部会 第8回学術大会開催のご案内

日 時：2012年9月30日（日）

10：30～16：00

場 所：愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）1201・1207会議室

J R名古屋駅 徒歩3分 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

テーマ：「根管充填について考える」

講 師：① 小林千尋

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯髄生物学分野

－歯内療法の予後と根管充填－

② 寺内吉継

医療法人社団インテリデントCT&米国式根管治療センター理事長

－根管充填の目的を考える－

参加費：一般参加 ￥7,000

研修医・学生 ￥0（無料）

申込み：当日受付にてお申し込み下さい

<問合せ先>

日本歯内療法学会中部支部会事務局 高城

TEL：0532-34-0510（たかぎ歯科）

FAX：0532-34-0554

E-mail：dqh01250@nifty.com



愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部 学術講演会のご案内

拝啓 初秋の候、会員各位におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部臨床懇話会を今年も開催させていただきます。今回は金沢大学医学部歯科口腔外科から川尻教授（歯学部23回生）をお招きして、口腔がんの浸潤様式と臨床予後の関連性などに関する最新のがん研究についてのご講演をしていただく予定です。ご多忙とは存じますが、ぜひ多くの先生方のご参加をいただきたく、三重県歯科医師会会員の先生方にご案内申し上げます。

三重県支部会長 水谷忠司

記

開催日時：平成24年11月18日（日）午後1時～4時30分

開催場所：三重県歯科医師会館1F教育センター

講師：金沢大学大学院医学系研究科がん医科学専攻細胞浸潤学分野
（歯科口腔外科）教授 川尻 秀一 先生

演題：口腔扁平上皮癌の悪性度に関する臨床ならびに基礎的研究

会場設定の都合上、出席のご連絡を11月8日（木）までにFAXまたはE-mailにてお願いいたします。

連絡先 こいえ歯科口腔外科 鯉江正人
FAX 059-225-9291
E-mail koikoi@guitar.ocn.ne.jp





互助会の現況

Mutual Aid Association

(24年6月1日～30日)

第1部 (疾病共済)

入会 1名 退会 0名 累計 790名 2,329口

収入累計 205,929,034円	{ 繰越 185,236,518円 入金 20,692,516円

支 出 2,820,000円

残 高 203,109,034円	{ 定期 98,000,000円 普通 55,109,034円 国債 50,000,000円	

療養給付：3名

死亡給付：3名

第2部 (火災共済)

入会 1名 退会 0名 累計 807名 822口

収入累計 108,182,178円	{ 繰越 107,363,178円 入金 819,000円

支 出 0円

残 高 108,182,178円	{ 定期 88,390,000円 普通 19,792,178円

第3部 (災害共済)

入会 1名 退会 0名 累計 807名

収入累計 47,632,770円	{ 繰越 46,434,270円 入金 1,198,500円

支 出 0円

残 高 47,632,770円	{ 定期 22,300,000円 普通 25,332,770円

(24年7月1日～31日)

第1部 (疾病共済)

入会 0名 退会 1名 累計 789名 2,326口

収入累計 203,109,034円	{ 繰越 203,109,034円 入金 0円

支 出 660,000円

残 高 202,449,034円	{ 定期 98,000,000円 普通 54,449,034円 国債 50,000,000円	

療養給付：3名

死亡給付：0名

第2部 (火災共済)

入会 0名 退会 1名 累計 806名 822口

収入累計 108,182,178円	{ 繰越 108,182,178円 入金 0円

支 出 0円

残 高 108,182,178円	{ 定期 88,390,000円 普通 19,792,178円

第3部 (災害共済)

入会 0名 退会 1名 累計 806名

収入累計 47,632,770円	{ 繰越 47,632,770円 入金 0円

支 出 60,000円

残 高 47,572,770円	{ 定期 22,300,000円 普通 25,272,770円



三重県歯科医師 国民健康保険組合

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

第133回国保定時組合会／23年度決算を承認



6月28日(木)、第133回定時組合会が開かれた。武田理事長は冒頭の挨拶の中で、課税額が100万

円以下の組合員については応能割保険料を免除し均等割保険料のみとすることを検討しており、2月の組合会で承認が得られれば25年度にも実施したいとの意向を明らかにした。辻(哲)副理事長から平成23年度事業実績について、宮田監事より平成23年度事務監査結果についてそれぞれ報告があった後、議事に移り、▽平成23年度歳入歳出決算並びに財産目録の承認を求める件▽平成23年度歳入歳出決算残高処分に関する件一がいずれも承認された。

全協中部支部総会／武田理事長と熊谷常務理事が出席



7月5日(木)、名古屋市内で全国国民健康保険組合協会(全協)の中部支部総会が開かれ、三重

県歯科医師国保組合の武田理事長と熊谷常務理事が出席した。冒頭、中部支部長として挨拶に立った愛知県歯科医師国保組合の齊藤佳雄理事長は、高松市で開催された第59回全協総会について報告するとともに政局についても言及し、社会保障と税の一体改革の行方について注視していく必要性を強調した。来賓挨拶では、全協の阿部正俊会長が、先進諸国の例も示しながら持論を含めて社会保障制度の今後のあり方について述べた。議事では上程された議案が滞りなく承認された。

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

平成24年4月／5月

現況

保険給付状況

		24年4月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,422	45,836,554	32,775,059
	累計	3,422	45,836,554	32,775,059
療養費	当月分	110		409,297
	累計	110		409,297
高額療養費	当月分	31		2,592,323
	累計	31		2,592,323
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	1		420,000
	累計	1		420,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	—		—
傷病手当金	当月分	14		436,000
	累計	14		436,000

		24年5月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,598	47,623,320	33,883,273
	累計	7,020	93,459,874	66,658,332
療養費	当月分	108		451,004
	累計	218		860,301
高額療養費	当月分	30		2,308,137
	累計	61		4,900,460
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	6		2,520,000
	累計	7		2,940,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	—		—
傷病手当金	当月分	10		586,000
	累計	24		1,022,000

収支状況

		24年度24年5月累計	
区分		金額	
歳入合計		128,740,554	
歳出合計		58,556,655	
収支差引残高		70,183,899	

		24年度24年6月累計	
区分		金額	
歳入合計		576,225,996	
歳出合計		144,034,719	
収支差引残高		432,191,277	

		23年度24年5月累計	
区分		金額	
歳入合計		1,364,918,214	
歳出合計		990,592,224	
収支差引残高		374,325,990	

被保険者異動状況

		24年6月30日現在	
区分		被保険者数	前月との比較
組合員		2,686	7
家族		1,762	△ 3
計		4,448	4

		24年7月31日現在	
区分		被保険者数	前月との比較
組合員		2,666	△ 20
家族		1,752	△ 10
計		4,418	△ 30

編集後記

Editor's Note

今年初めて、職場体験の中学生を受け入れました。最初に学校の先生から「職場体験に対応できますか」との問合せがあり、「大丈夫ですよ」と返事はしたものの、詳細は本人と打ち合わせて下さいとのこと。打合せも授業の一環なのだそうです。受付や歯科助手、歯科衛生士を希望している女子中学生だと思いついていたのですが、実際に連絡をくれたのは歯科医師希望の男子。最近、歯科医師は魅力ある職業だと思われていないような印象があったのでちょっと嬉しくなりました。

そして迎えた職場体験初日。生徒さんはもちろ

ん、迎える私やスタッフも緊張気味。幸い、患者さんたちは温かく見守って下さいました。最初は立ち続けていることだけでヘトヘトになった生徒さんでしたが、慣れてきたところで院内の清掃やミーティング、勉強会にも参加。模型での実習も楽しそうにチャレンジしてくれました。

わずか3日間の職場体験でしたが、仕事の楽しさややりがい、チーム医療や予防の大切さ等が、少しでも伝わっていたらと願っています。

(広報編集委員・井上 博 記)



Continuous Improvement
たえまなき改善



MUTSUMI
技術と品質で築く、信頼のコミュニケーション。

ネオプラムストーン

歯科用硬石膏



標準価格:
3kgシンプルパック入り
(1.5kg×2)
¥2,750 (消費税別)
一般医療機器24B2X0003000207

ネオプラムストーンは
微細化された優良なα型半水石膏を基材としたことで、
高強度で表面滑沢性に優れた緻密な模型の製作を実現。
しかも様々な作業の利便性をアップできるよう、
イエロー、ブルー、ホワイト、グリーン、ピンク、グレーと6色の
パステルカラーを用意しました。

6カラーをラインアップ


イエロー


ブルー


ホワイト


グリーン


ピンク


グレー

製造販売元
睦化学工業株式会社

〒510-0804 三重県四日市市万古町8-9 ☎ 059-331-2354(代) ☎ 059-331-1044
<http://www.mutsumikagaku.co.jp>

医・歯学部進学は全寮制の秀明学園から

秀明教育が医療の世界で高く評価されています。

■ 秀明学園の特色 ■

- 月曜登校、金曜帰宅……4泊5日の全寮制
- ムリ、ムダ、ムラのない……中・高一貫教育
- 英国留学2回で……国際人の育成
- 父母と学校の「共育」で……子供の夢を実現

医歯学部主要合格大学

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	昭和大学	58
北海道大学	2	防衛医科大学校	8	九州大学	2	愛知学院大学	12
東北大学	5	自治医科大学	2	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	17
名古屋大学	2	産業医科大学	2	新潟大学	2	北海道医療大学	42
大阪大学	1	日本医科大学	34	岡山大学	1	岩手医科大学	32
九州大学	1	東京慈恵会医科大学	19	広島大学	2	奥羽大学	102
東京医科歯科大学	1	順天堂大学	48	九州歯科大学	4	明海大学	135
千葉大学	6	昭和大学	56	長崎大学	2	神奈川歯科大学	75
筑波大学	1	日本大学	68	鹿児島大学	2	鶴見大学	82
群馬大学	4	東京医科大学	50	東京歯科大学	63	松本歯科大学	79
新潟大学	6	東邦大学	76	日本大学・歯、松戸歯	128	朝日大学	32
山梨大学	7	東京女子医科大学	10	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	176	福岡歯科大学	2

上記以外、国立18大学63名 私立17大学855名

※数字は1982年～2012年度の延べ人数 ※順不同

学校見学会

開催日	会場	時間
10月14日(日)	本校	13:00～15:00
10月28日(日)		
11月11日(日)		

文化発表会

開催日	会場	時間
10月6日(土)	本校	9:00～15:00
10月7日(日)		

説明会・見学会参加、資料ご希望の方は、電話・ホームページで

入学試験日程

入試区分	出願期間	試験日	合格通知書発送日
AO入試	11月12日(月)～11月23日(金)	11月25日(日)	11月27日(火)
一般入試 第Ⅰ期	1月15日(火)～1月25日(金)	1月27日(日)	1月29日(火)
一般入試 第Ⅱ期	1月28日(月)～2月8日(金)	2月10日(日)	2月12日(火)

学校法人 秀明学園

進学相談・学校見学随時受付中

秀明中学校

(併設 秀明高等学校)

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) FAX.049-232-6614

秀明学園

検索

<http://www.shumei.ac.jp>



新しいパワー。新しい喜び。 ニューBMW X5 xDrive35d BluePerformance 誕生。

New X5 xDrive35d BluePerformance 8速AT 5ドア 右ハンドル **8,390,000円**
 燃料消費率: 11.0km/l (JC08モード) / 直列6気筒DOHC ディーゼル 2,992cc /
 最高出力: 180kW(245ps)/4,000rpm (EEC) / 最大トルク540Nm(55.1kgm)/1,750-3,000rpm (EEC)

ニューX5 xDrive35d BluePerformanceはエコカー減税・クリーンエネルギー自動車補助金対象

エコカー減税による減税対象

クリーンエネルギー自動車補助金も適用

[内訳]	自動車取得税・減税(100%免税): 約359,500円	減税合計 約 434,500円	+	平成23年度クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金 最大 140,000円	=	合計 約 574,500円
	自動車重量税・減税(100%免税): 約75,000円					

ニューX5 xDrive35d BluePerformanceはエコカー補助金10万円対象車

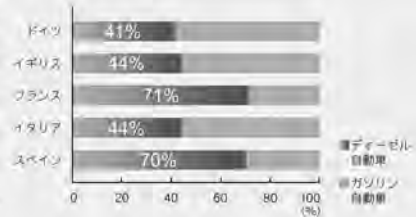
※エコカー補助金の実際の制度実施には、国会での平成23年度第4次補正予算案が可決・成立することが必要となります。

※エコカー補助金と平成23年度クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金は同時に適用されない見込みです。

ヨーロッパでは、ディーゼルが人気なのをご存じでしたか？

ヨーロッパでは、高い環境性能、優れた運動性能、高い経済性などの理由から、ディーゼル自動車が幅広く支持され、乗用車でのシェアは50%*を超えています。特に普及拡大が進んでいるフランスおよびスペインにおいては70%*に達しているのです。1990年では僅か15%*程度だったディーゼル乗用車の登録台数比率が、1990年代後半から大幅に増加した要因は、コモンレール・ダイレクト・インジェクション・システムに代表される新しい燃焼技術にあります。ディーゼル自動車の動力性能がガソリン自動車並みに向上するとともに、DPF(粒子状物質除去フィルター)に代表される排ガス後処理技術の進歩によって、排ガス性能が大幅に向上したのです。このディーゼル先進国とも言えるヨーロッパで、BMWのディーゼル・エンジンは、特に高い評価を受け続けています。

*European Automobile Manufacturers' Association / 期間: 2010年1月~8月より



Mie Chuo BMW (三洋自動車株式会社)

伊勢・新車ショールーム: 伊勢市上地町1040番地 TEL. 0596-22-0125

鈴鹿・新車ショールーム: 鈴鹿市寺家6丁目21-21 TEL. 059-387-3311

BMW認定中古車センター (BMW Premium Selection 津)

津市高茶屋小森町298 TEL. 059-238-2288



NKSJグループ

まごころって、
保険にもこめられるんだ。

どんな言葉をかけたら、事故の不安がやわらぐだろう。
どんなサービスがあったら、もっと安心してもらえるだろう。
どう伝えたら、商品のことをもっと理解してもらえるだろう。
私たち損保ジャパンは、
そんなふうにもっとお客さまの気持ちを想像し
一人ひとりがまごころを磨くことで、
安心をつくるいちばんの存在になっていきたいと思ひます。

この国でいちばん
お客さまの声に応えられる
保険会社へ



株式会社 損害保険ジャパン

三重支店 津支社
〒514-0004 三重県津市栄町3-115
TEL.059(226)3011
<http://www.sompo-japan.co.jp>

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!
mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : info@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Soaric

人を大切にしたデザインとテクノロジーから生まれました

The New PdW Style

直感的で自然な動作での診療を可能にする、先進のトレーシステム。
ユニットへの組み込みが可能な、マイクロスコープと根管長測定機器。
小型ボディに根管治療機能が搭載された、新開発マイクロモーター。
そのディテールに至るまで一貫して表現された、洗練のデザイン。



Debut

発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161
製造販売・製造 株式会社 **モリタ製作所** 本社工場: 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141 久御山工場: 京都府久世郡久御山町大字市田小学新珠城190 〒613-0022 TEL 0774-43-7594
販売名: ソアリック 標準価格: 4,543,000円~(消費税別途) 2011年6月21日現在 一般的名称: 歯科用ユニット 機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 222ACBZX00016000
www.dental-plaza.com